



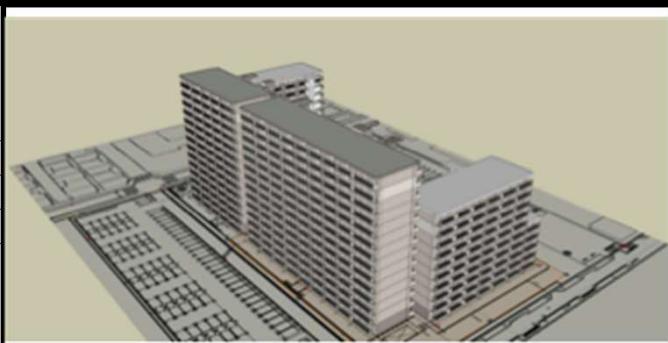
建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

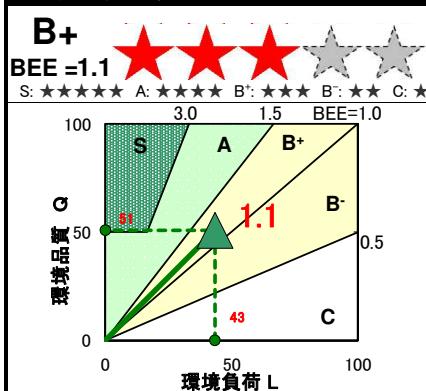
1-1 建築概要

建物名称	古市住宅1号館	
建設地	城東区閑目2丁目	
建築用途	共同住宅	
建築主	大阪市長	
設計者	大阪市都市整備局	
敷地面積	12,439.34	m ²
建築面積	1,979.50	m ²
延床面積	18,837.51	m ²
構造/階数	RC造	/ 地上14階
完了年(予定)	2028年7月	

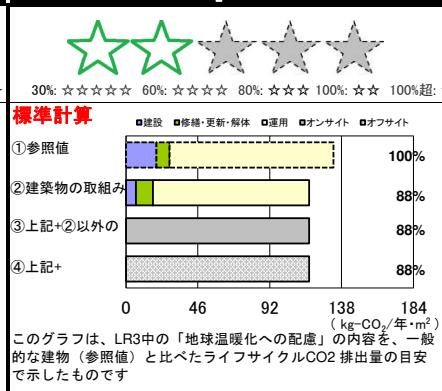
1-2 外観



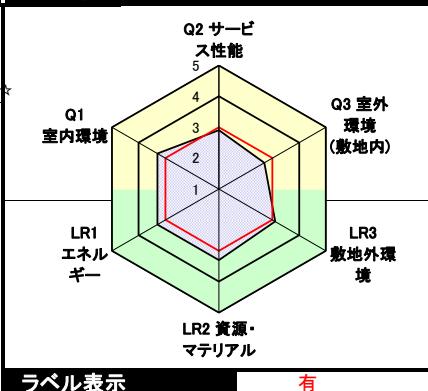
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



2-2 ライフサイクルCO₂温暖化影響チャート



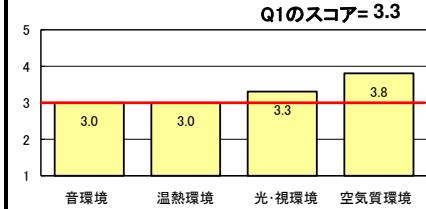
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



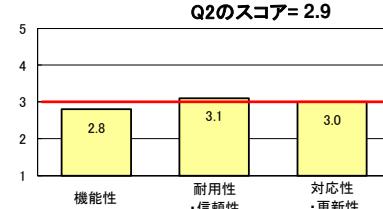
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

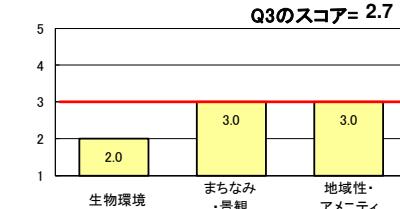
Q1 室内環境



Q2 サービス性能

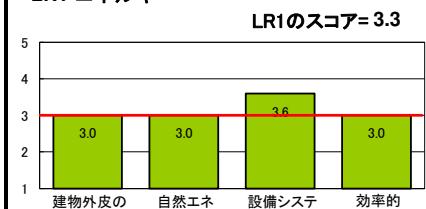


Q3 室外環境 (敷地内)

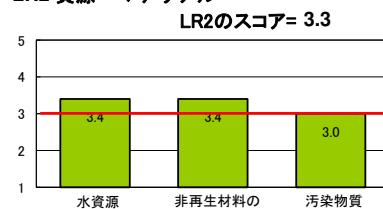


LR 環境負荷低減性

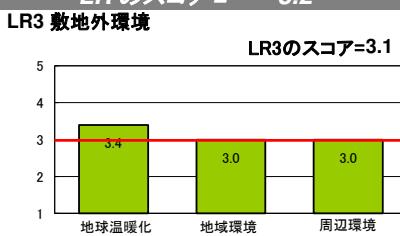
LR1 エネルギー



LR2 資源・マテリアル



LR3 敷地外環境



3 設計上の配慮事項

総合

本件住宅については、室内環境の向上を目指しシックハウス対策として、F☆4の材料を使用している。また、建物の長寿命化に取組んでおり、廃棄物の抑制を目指している。さらに、グリーン調達の推進により、再生利用材料の使用に努めている。

その他

特になし。

Q1 室内環境

居室面積の1/6以上の開閉可能な窓を確保している。開閉部を大きく設け、采光率を確保するように計画している。

Q2 サービス性能

住宅の品質確保の促進に関する法律（日本住宅性能表示基準、3.劣化の軽減に関する事）における木造、鉄骨又はコンクリートの評価方法基準（平成26年国土交通省告示第151号）で等級3相当である。また空調及び給排水配管の耐用年数の長寿命化に配慮し、主要な用途上位3種の2種類以上にB以上を使用し、Eは使用していない。

Q3 室外環境 (敷地内)

建物高さ、壁面位置、外装・屋根・庇・開口部・塀等の形状や色彩において、周辺のまちなみや風景にバランスよく調和させている。

LR1 エネルギー

特になし。

LR2 資源・マテリアル

自閉式水栓、節水型便器を採用する事で居住者の節水・省エネ対策に配慮している。非再生性資源の使用量削減に努め、軸体材料以外において、リサイクル資材を3品目以上使用している。

LR3 敷地外環境

特になし。

建築物環境性能表示 結果 [重点評価]

総合評価BEE = 1.1

ラベル表示



環境性能	評価点
(1)CO2削減	3.0
CO2削減に配慮した環境性能	
LR3/ 1 / / 地球温暖化への配慮	3.4

環境性能	評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策	3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	
Q3 / 1 / / 生物環境の保全と創出	2.0
Q3 / 3 / 3.2 / 敷地内温熱環境の向上	3.0
LR3/ 2 / 2.2 / 温熱環境悪化の改善	3.0

環境性能	評価点
(3)建物の断熱性	3.0
CO2削減に配慮した環境性能	
LR1/ 1 / / 建物の熱負荷抑制	3.0

環境性能	評価点
(4)エネルギー削減	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	
LR1/ 3 / / 設備システムの高効率化	3.6

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	
--------	--

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
(基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

住宅部分 (品確法等級)	非住宅部分[BPI][BPIm]
外皮性能 等級3 (相当)	-
建物全体[BEI][BEIm]	
一次エネルギー消費量 0.94	0.94
非住宅部分[BEI][BEIm]	-